**音楽科学習指導案**

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時〇年〇組音楽室　指導者　〇〇　〇〇

１　題材名　日本とアジアの語り物音楽を聴こう

　　教材名　義太夫節：「」から“野崎村の段”

　　　　　　パンソリ：「」

２　考察

(1)　題材観

　　本題材は、以下に示す学習指導要領の内容を受けて設定されたものである。

|  |
| --- |
| 第1学年　Ｂ　鑑賞（1）鑑賞  　ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。  (ウ)　音楽表現の共通性や固有性  　イ　次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。  (ウ)　我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性  〔共通事項〕（１）  （本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「音色」、「リズム」） |

我が国や郷土の伝統音楽は、その多くが、古くから諸外国からの音楽文化の影響も受けながら独自の発展を遂げ、現在でも様々な音楽として存在している。諸外国の様々な音楽を知ることは、我が国や郷土の伝統音楽を理解するためにも必要なことだと考える。本題材では、語り物音楽を軸に日本と韓国の伝統音楽の鑑賞を行う。日本と韓国における音楽表現の共通性や固有性などに着目して、それぞれの音楽に対する生徒の興味・関心を引き出しながら比較鑑賞し、音楽を形づくっている要素と関連付けながら学習を進め、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる生徒を育成したいと考え、本題材を設定した。

(2)　教材観

　　本題材で扱う我が国の伝統音楽は、義太夫節である。義太夫節は、17世紀後半に大阪で人形芝居「人形浄瑠璃」の語りとして成立した三味線音楽である。声を担当する語り手の太夫が、物語の進行だけでなく、登場人物の心理描写や感情を一人で語り分ける。伴奏を担当する三味線は、太棹三味線が使用され、深い響きと力強い撥さばきで心情や情景を描き出す。現在では、歌舞伎の演目としても演じられることもある。義太夫節の中で、本題材で扱う教材は、近松半二作「新版歌祭文」から“野崎村の段”である。この曲は、上演される機会の多い世話物の人気作の一つである。あらすじも難解でなく、生徒にも伝わりやすい内容だと考える。また、登場人物の描写がはっきりしているため、表現の違いに気付きやすいと考える。

　　一方、アジア地域の諸民族の音楽として、韓国のパンソリを扱う。パンソリは、韓国の伝統音楽の一つで、義太夫節と同じように語り物音楽に分類される。歌い手が伴奏の太鼓に合わせて、歌や台詞や身振りを織り交ぜながら物語を進めていく。パンソリの中で、本題材で扱う教材は、「興甫歌」である。この作品は、現存するパンソリの演目のうちの一つで、内容も日本の昔話「舌切り雀」と類似していて、生徒も内容を捉えやすいと考える。また、ひょうたんを切る様子や会話の部分など、音楽表現が分かりやすい部分もあり、韓国の音楽の特徴を捉えやすい教材だと考える。

３　題材の目標

　義太夫節（日本）とパンソリ（韓国）の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、語り物音楽のよさや美しさを味わって聴き、我が国の伝統音楽やアジア地域の諸民族の音楽に親しむ態度を養う。

４　指導と評価の計画（全３時間予定）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価規準 | 知識・技能 | | | 知　「義太夫節」、「パンソリ」の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 | | | |
| 思考・判断・表現 | | | 思①　「義太夫節」、「パンソリ」の音色、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。  思②　音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | 態　声による表現の多様さに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | | | |
| 過程 | | 時程 | 〇ねらい　　めあて | | 評価の観点 | | |
| 知 | 思 | 態 |
| つかむ | | 第１時 | 〇「義太夫節」、「パンソリ」を聴き、それぞれの音楽の雰囲気を捉えることを通して、音楽の特徴について考えることができるようにする。  二つの国の音楽を比べながら聴いて、音楽の特徴に気付こう  【題材の課題】  日本と韓国の語り物音楽の特徴を探りながら聴き、音楽のよさや美しさを味わおう | |  |  |  |
| 追求する | | 第２時 | 〇「義太夫節」、「パンソリ」の音色、リズムを知覚し、感受したこととの関わりについて考えることを通して、二つの音楽の共通点や相違点に着目しながら音楽の特徴について理解できるようにする。  二つの国の音楽を比べながら聴いて、似ている部分や違う部分を探ろう | | 知〈観察・ワークシート〉 | 思①〈観察・ワークシート〉 |  |
| まとめる | | 第３時 | 〇「義太夫節」、「パンソリ」のよさや美しさを自分なりの言葉でまとめて他者に伝える活動を通して、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。  二つの国の音楽の特徴を自分なりの言葉で表し、音楽のよさや美しさを味わおう  【課題を達成した姿】  音楽を形づくっている要素を手がかりに、日本と韓国の語り物音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている | |  | 思②〈観察・ワークシート〉 | 態〈観察・ワークシート〉 |

５　本時の展開（１／３）

(1)　ねらい　「義太夫節」、「パンソリ」を聴き、それぞれの音楽の雰囲気を捉えることを通して、音楽の特徴について考えることができるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、世界地図、学習プリント、ICT端末、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　本時のめあてをつかむ。  〇どこの国の音楽かを想像しながら「義太夫節」を聴く。  ・日本語で歌っている。  ・三味線の音がしていたな。  〇どこの国の音楽かを想像しながら「パンソリ」を聴く。  ・何語なのか分からない。  ・民謡みたいな感じがした。  ・太鼓の音が聞こえた。  〇聴き取った情報を共有する。  ・２曲とも日本の音楽だと思う。  ・１曲目は日本語だったけど、２曲目は違う言葉だよ。  ・使われていた楽器が違うから、国も違うと思うな。  〇二つの音楽が、どこの国の音楽だったのかを知る。  ・日本と韓国の音楽だったのか。  ・お隣の国だから似ていたのかな。  二つの国の音楽を比べながら聴いて、音楽の特徴に気付こう | 15 | ・映像は流さず音のみを流すことで、音楽に集中して聴取できるようにする。  ◎共通点や相違点が知覚しやすい場面を聴取させることで、学習に対する意欲を高める。  ・世界地図を使用し、演奏される音楽の地域を地図上からも推測できるようにする。  ・州から国名へと自分の考えを焦点化できるようにプリントを工夫する。  ・発言に対しては受容的な態度をとり、音楽や音楽以外のことでも活発に発言できるようにする。  ・様々な考えに触れるため、情報共有の場を設ける。  ・正解を提示せずに意見交流を行うことで、生徒の発言を促す。  ・音楽だけでなく、文化や歴史にも触れながら国を確認することで、音楽文化への興味・関心を高める。 |
| ２　二つの音楽を比較しながら聴く。  〇二つの音楽の中で、特徴的な部分（知覚）や印象的な部分（感受）を聴き取る。  ・三味線と太鼓が使われていた。  ・日本の音楽は、ゆっくり流れている感じがした。  ・韓国の音楽は、早口だった。  ・２曲とも話し声みたいな部分があった。  ・日本の音楽は暗い感じがして、韓国の音楽は楽しい感じがした。 | 15 | ◎二つの音楽の音楽表現の特徴を考えさせることで、音楽を形づくっている要素との関わりを意識付ける。  ・二つの音楽が同じジャンルに分類されていることを確  認する。 |
| ３　題材の課題をつかむ。  〇日本と韓国の語り物音楽を調べる。  ・日本は、平曲・浄瑠璃・義太夫節とかいろいろあった  ・韓国は、パンソリって出てきた。  ・「語り物」って何を語っているのかな。  【題材の課題】  日本と韓国の語り物音楽の特徴を探りながら聴き、音楽のよさや美しさを味わおう | 10 | ・ ICT端末を活用し、主体的な学習を促す。  ・指定した Webサイトで演奏形態なども確認できるように準備する。  ・題材を通しての課題を確認することで、学習に対する見通しを立てられるようする。 |
| ４　学習のまとめをし、学びを振り返る。  ・日本と韓国の音楽は、似ている部分もあったけど、雰囲気は違った。どうしてなのか詳しく知りたいと思った。 | 10 | ・本時の振り返りを行い、鑑賞して気付いたことや感じたこと、題材で何を学びたいかを問い掛ける。 |

本時の展開（２／３）

(1)　ねらい　「義太夫節」、「パンソリ」の音色、リズムを知覚し、感受したこととの関わりについて考えることを通して、二つの音楽の共通点や相違点に着目しながら音楽の特徴について理解できるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、学習プリント、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　本時のめあてをつかむ。  二つの国の音楽を比べながら聴いて、似ている部分や違う部分を探ろう | ５ | ・前時の振り返りを行うことで、自己の気付きや他者への共感を促す。  ・本時の流れを確認し、学習に対する意欲を高める。 |
| ２　「義太夫節」と「パンソリ」の音楽表現を探る。  〇どの場面を表現しているか聴き取る。  ・急に音が強くなった部分があったから緊張感のある場面だと思った。  ・シルルルル～の部分が細かいリズムだったから、ひょうたんを切る場面を表現していると思う。  ・曲の雰囲気の違いは、何が関係するのかな。  〇「義太夫節」と「パンソリ」の音楽の特徴を探る。  ・太棹三味線の音は低くて響いていたよ。  ・パンソリは、跳ねるようなリズムの部分があった。  ・同じ語り物音楽だけど、雰囲気が違うな。 | 15 | ・知覚と感受の関わりを捉えやすくするために、音楽と物語の関係性を意識しやすい部分を聴取させる。  ◎音楽を形づくっている要素を手がかりに、共通点や相違点を探りながら聴取し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを共有することで、音楽に対する理解を深める。  ・音楽の特徴を意識しやすくするため、音楽を形づくっている要素を絞り、聴く観点を限定して示す。  ・音楽の特徴を具体的に捉えることができるように、手拍子などの活動を取り入れる。 |
| ３　「義太夫節」と「パンソリ」を比較する。  〇今までの学習で知覚・感受したことを基に、共通点と相違点に分類する。  ・歌と楽器が一人ずつというのは、共通している。  ・使っている楽器は違うよ。  ・二曲とも話し声みたいな部分があった。  ・義太夫節の雰囲気は暗かったけど、パンソリは明るい感じがした。 | 20 | ◎比較分類しやすいように思考ツールを用いる。  ・共通点や相違点に分類したことを、音楽を通して確認する。  ◎多角的な意見に触れるため、個人の考えをまとめた後にグループで意見交流する。  ・様々な考えが発言できるように、机間巡視をしながら支援する。  ◇知　「義太夫節」、「パンソリ」の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。　　　　　　　　　〈観察、ワークシート〉  ◇思①　「義太夫節」、「パンソリ」の音色、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。〈観察、ワークシート〉 |
| ４　学習のまとめをし、学びを振り返る。  ・同じ語り物音楽でも楽器やリズムが違うと曲の雰囲気も変わることが分かった。  ・音楽にも歴史や文化が関係していることが分かった。 | 10 | ・二つの音楽の共通点や相違点を捉え、歴史や文化などが音楽に影響していることを確認し、次時につなげる。 |

本時の展開（３／３）

(1)　ねらい　「義太夫節」、「パンソリ」のよさや美しさを自分なりの言葉でまとめて他者に伝える活動を通して、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(2)　準　備　鑑賞用音源、紹介文シート、振り返りシート

(3)　展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 〇学習活動  ・予想される生徒の反応 | 時間  (分) | 指導上の留意点及び支援・評価  ◇評価　◎研究上の手立て |
| １　本時のめあてをつかむ。  二つの国の音楽の特徴を自分なりの言葉で表し、音楽のよさや美しさを味わおう | 5 | ・前時の振り返りを行うことで、自己の気付きや他者への共感を促す。  ・今まで学んできたことを基に紹介文を書くことを伝える。 |
| ２　紹介文を書き、グループで発表する。  〇音楽の紹介文を書く。  〇紹介文をグループで発表し、共有する。  私の紹介したい曲は、韓国のパンソリ「フンボガ」です。  なぜならば、言葉は分からないけど、歌と太鼓だけで物語を表現していてすごいと思ったからです。  この曲の音楽的な特徴は、一人の歌い手が低い声から高い声まで出して物語の情景を表現しているところです。また、韓国の音楽の特徴的な３拍子系のリズムがスキップしているようで明るい雰囲気で楽しかったです。  K-POPだけでなく、韓国の伝統音楽も聴いてみたいと思いました。  皆さんもぜひ聴いてみてください。 | 30 | ・相手に伝わりやすく具体的な内容の記述を促すため、紹介する相手を明確に提示する。  ◎生徒の実態に合わせた紹介文シートを準備する。  ◎学びの深まりや知識の定着のために、紹介文を他者に伝える場面を設ける。  ・全体で意見を共有する際には、音楽を通して確認できるようにする。  ◇思②　音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。　　　　　　　　〈観察、ワークシート〉  ◇態　声による表現の多様さに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。　〈観察、ワークシート〉 |
| ３　学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。  〇本題材で学んだことを振り返りながら「義太夫節」と「パンソリ」を聴く。  　日本と韓国の語り物音楽は、台詞みたいな部分や歌っている部分の声の出し方が似ていて興味深かったです。でも、韓国の音楽は、馬に乗っていた影響もあって３拍子系のリズムが使われていて特徴的でした。どちらの音楽もそれぞれの歴史を感じられ、聴いていて楽しかったです。今回は「語り物音楽」だったけど、他のジャンルで日本と韓国の音楽を聴いてみたいと思いました。 | 15 | ・題材で学んだことを振り返りながら「義太夫節」と「パンソリ」を再鑑賞させる。  ・振り返りシートを活用し、今までの学習の振り返りをさせる。  【課題を達成した姿】  音楽を形づくっている要素を手がかりに、日本と韓国の語り物音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている  ・題材での学びを、今後の学習にどのように生かしていくかを考えさせる。 |